

教育テーマ「夢と希望を育む教育・文化の村づくり」

推進テーマ「すべての幼児児童生徒の『学び』の保障を目指して」

青雲の志 V

村学推進実践報告会



奥小全校児童による奥川の水質と水生生物についての発表

今月七日、国頭村学校改革推進委員会実践報告会がふれあいセンターで盛大に開催されました。

本校は、研究主任の比屋根渚先生が校内研修を中心に日々の授業実践や道徳教育の取組等を報告しました。また、夏休みにアメリカ

ワシントン州への短期留学に本村から派遣された三年生の黒塚茉莉菜さんと金城巴奈さんが現地での貴重な体験やエピソード等を発表しました。一人ひとりの短期留学を通して、自分が将来目指すべき道がはっきり見えてきた…。この研修で学んだことをこれからの人生にいかしていきたい…。と力強く述べました。堂々とした発表に会場から大きな拍手が二人に贈られました。大変有意義な実践報告会でした。



国頭中学校
国頭村字辺土名 1463
Tel 41-2205
Fax 41-3071
発行 校長 島袋賢雄

明るく生きよう

あなたは後ろ向きな想いでいっぱいになっている。貧しかったり、失敗続きだったり、病気だったりするのは自分の過去や生き方に問題や過ちがあったりだからだろうと思いきまされている。

そのくだらない思い込みから抜け出さない
顔を上げ、はつらつと生きなさい
良いことを考えなさい 希望を持ちなさい
新しい自分になれるよう、考え方と生き方を
明るくしなさい

苦しみには価値がある

苦しんだ人こそ、生の価値がわかる。
命の尊さがわかる。
だから苦しみは不当な制裁でもないし、不運でもない。
苦しみは、今は理解できない深い意味がある。
この苦しさに耐えた後に、生きていることの光のまばゆさが身にしみてわかる。

エイズ教育講演会



NPO法人HIV人権ネットワーク沖縄 理事長の比嘉正央氏を講師にお招きし、エイズ教育講演会を開催しました。

エイズに感染しいろいろな迫害を受ける中で周囲の理解を得ようと訴え続けて亡くなった南アフリカの少年の話や男女交際の大原則、生き方等について、ご講話を頂きました。

病気に対する偏見、差別でおこる人権問題について学び、これからの性との向き合い方、生き方について考える機会となりました。今後直面する諸問題に対して適切な意思決定や行動選択ができるようになることを期待しています。

※講話の中で紹介されたメッセージ

赤い羽根共同募金

今年も生徒会執行部の皆さんが全校生徒、先生方に協力を呼びかけ「赤い羽根共同募金活動」に取り組んでいます。



集まった募金は終業式の日に国頭村社会福祉協議会の職員へお渡しする予定です。村での共同募金と使われ方を知ることが、自分たちの住む地域の福祉を知ることにもなります。生徒の皆さんにはぜひこの機会に関心を持って欲しいと思います。

マリーゴールド満開

校門から正面玄関までのアプローチにかけて満開に咲いたマリーゴールドが、登下校の生徒や来校者の心を癒やしてくれています。

整備委員会の皆さんが苗のプランターへの移し替えや日々の手入れを頑張っています。



※本校元職員の池原弘昭先生（現田嘉里酒造所）から、このマリーゴールドをはじめ毎年多種類の草花の苗を提供頂いています。心から感謝申し上げます。

インフルエンザ大流行の兆し!

既に県内の学校等においてインフルエンザによる集団かぜが発生していることもあり、今後、本格的に流行シーズンを迎えるものと考えられます。

まずはこまめな手洗いと咳エチケットを心がけよう!